



感染者の動向

累計感染者数 302,020人

累計死者数	累計回復者数	新規感染の傾向
6,383人	289,806人	減少傾向

9月14日現在 ※出所：国家保健サービス規制調整省



行動・活動制限

活動制限

なし

実施主体

連邦政府、州政府

具体的制限

- 連邦政府は8月6日、閉鎖・規制産業の再開許可を決定。
- これを受け、シンド州では8月10日から飲食店（店内飲食）や映画館等の再開を許可（詳細は、「経済活動制限」をご参照）。
- パンジャブ州、カイバル・パクトゥーンクワ州でもほぼ同様に再開を許可。

日本人学校（イスラマバード、カラチ閉鎖中）

- カラチ日本人学校は、教員は10月に帰還予定。12月を目途に再開することを今後検討予定。

カラチ事務所長
山口 和紀



9月15日、6か月ぶりに学校が再開

新型コロナウイルス感染が急拡大した3月中旬に閉鎖された全国の教育機関が順次、9月15日から6か月ぶりに再開されます。シンド州では結婚式場の9月15日再開の許可も出ました。一般市民の生活はほぼ完全に元に戻りました。今後は経済の復調に期待がかかります。



空港再開／直行便

空港

オープン

日本との国際便（直行便は元々なし）

- 当局は、8月9日から国際便の運航を許可。
- カタール航空はカラチ・ドーハ・成田、週6便。
- エミレーツ航空はカラチ・ドバイ・成田週4便。両社ともにパキスタンからの搭乗時に指定機関のPCR陰性証明が必要。トルコ航空も同様。
- タイ航空は11月1日運航再開予定か。



日本・海外からの入国制限

日本人の入国

可

外務省感染症危険情報

レベル3：渡航は止めてください。

制限措置・入境後の隔離措置等の概要

当局は6月20日、国際線SOPを変更。全乗客を対象としたPCR検査は中止。サーモグラフィによる検温、健康申告書の提出および同申告書に基づく専門家による問診を実施。問題なしと判断された乗客については自宅等への移動と最低14日間の隔離を勧告される。症状が認められた乗客は、専門家が隔離の必要性を判断する。
(カラチ日本総領事館)



経済活動再開の状況

経済活動制限

主要規制・制限

- 連邦政府は8月6日、閉鎖・規制産業の再開許可を決定。
- これを受け、シンド州では、スポーツ施設、レストラン・カフェ（店内飲食）、遊園地・アーケード、美容室・スパ、映画館・劇場、宗教施設、観光業・観光ホテル等について8月10日からの再開を許可。
- パンジャブ州、カイバル・パクトゥーンクワ州もほぼ同様に8月10日からの再開を許可。
- シンド州、KPK州は9月14日、結婚式場の9月15日再開を許可。

再開基準（シンド州）

- 職場では、厳格なSOPの順守が必須。具体的には、マスクの着用、他人と3フィートの間隔をとること、頻繁な手洗い、ハンドサニタイザーの使用、風通し確保など。
- 建物の全ての入口での体温測定器による従業員の体温検査。
- 市内・都市間の公共交通もSOP順守の上、再開。

現地産業・企業の動き

- ロックダウン中に一足早く操業を再開を許可された輸出向け繊維・アパレル産業も外需を失い非常に厳しい状況。
- 7月からの新年度予算案においても、製造業への支援策は打ち出されず、産業界には失望感。
- 19/20年度（19年7月～20年6月）の大規模製造業の生産は前年同期比10.17%の減少。（パキスタン統計局）

その他

- 連邦政府は9月7日に、全国の教育機関を9月15日から段階的に再開することを決定。9年生（13歳）から大学は9月15日再開、6～8年生は23日、1～5年生は30日。



現地日系企業の活動状況

現地日系企業の抱える課題

操業状況

- 在パキスタン日系企業は79社（支店、駐在員事務所等全てを含む）。うち、カラチ、ラホール、イスラマバードの日本商工会会員企業数は計42。
- シンド州カラチ25社、パンジャブ州ラホール6社、イスラマバード11社となっている。
- 工場をもつ主な製造企業は、四輪（スズキ、トヨタ、ホンダ、日野、ヒュンダイ=双日）と二輪メーカー（ホンダ、ヤマハ、スズキ）。その他、MIDP（コイル）、GSユアサ（バッテリー）、サンデン（カーエアコン）、YKK、森永等。
- 四輪、二輪メーカーは5月中下旬から操業再開の準備を開始、6月から生産能力を絞って再開。
- ヒュンダイ・ニシャット・モーター（双日）は8月12日、2車種目のCKD車でSUVの「タクソン」（2,000 CC、4気筒ガソリンエンジン）の発売を発表した。

サプライチェーン、物流への影響

- 物流（航空便、船便）、通関は現在、ほぼ平常に戻っている。航空便の輸入通関の検査が厳しくなっており、通関にやや時間を要する。無償サンプル、個人向けギフトや食料品までもが検査対象となっている模様。（8月20日日本通運への聞き取り）

現在抱える課題、懸念など

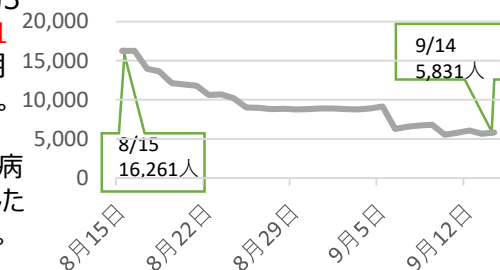
- 8月27日に全土でモンスーンの大雨。カラチでは12時間雨量が223.5ミリに達する記録的豪雨。市内全域が冠水、死者、多数の家屋の浸水、停電、通信・飲用水の途絶等が発生。幸い、日系四輪・二輪メーカーに甚大な被害はなかった。
- 9月14日現在、カラチ日本商工会会員企業25社のうち、日本人駐在員がカラチにいるのは、スズキ、トヨタ、ホンダ、ヤマハ、豊田通商、丸紅、双日、味の素の8社。メーカーで人の入れ替えの動きが、また商社にもNSのみによる事務所再開、駐在員帰還の動きが出ている。
- カラチ日本商工会の調査（9月3日実施）によると、9～10月の帰還を予定する企業が6社あり。1社は10月中の帯同家族の帰還予定に言及。
- 在ラホールのホンダ（四輪・二輪）、サンデンは、駐在員が8月に帰還。



注目のトピック

- 現在感染者数は、イード終了約3週間後の6月19日がピーク（11万人）で以後は減少傾向。9月14日時点で5,831人と大幅減。
- 3都市の日本人が利用しやすい病院にベッド占有率を聞き取り等した結果は以下のとおり。改善傾向。

現在感染者数の1か月の推移（人）



	病院名	ベッド数	入院費（1日、ルピー）	ベッド占有率（込み具合）
カラチ	アガカーン大学病院（私）	56	5～7万	「ベッド占有率は40%」
	サウスシティ病院（私）	23	10万	「約20%」
	ジアウディン病院（私）	20	7～8万	「約20%」
イスラマバード	SHIFA国際病院（私）	-	5～10万	「受け入れ可能。余裕あり」
	PIMS病院（3セク）	100	無料	「受け入れ可能」
ラホール	ナショナル病院（私）	-	2.7～4万	「0%」

（9月14日ジेटロカラチ調べ）



ジेटロからのお知らせ

アジアにおける新型コロナウイルス対応状況

ジेटロウェブサイトにて新型コロナウイルス関連ニュース、動画によるワンポイント解説、アジア各国の企業などに対する支援策を紹介。

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/>

新型コロナウイルスに関するお問い合わせ

（国内）
新型コロナウイルス相談窓口

TEL :03-3582-5651
（平日9時～12時/13時～17時（土日、祝祭日を除く））

（海外）
最寄りのジेटロ事務所まで
お問い合わせください